

## 第 17 回 ちょっと長めの話を聞く会

世話人 中村 雅彦（上越教育大・生物）

立教大学での 1991 年大会から始まったこの自由集會も 17 回目となりました。数年間、休眠状態だったこの会を第 12 回から復活させた私が、引き続き今年も世話人として開催します。

この会の主旨は、この会を立ち上げた初代世話人の山岸哲さんが 1992 年大会講演要旨に書いてあるとおりである。2 代目世話人の藤岡正博さんがその主旨を上手にまとめてあるので、そのまま掲載する。第 1 の目的は、最近学位論文をまとめた研究者に研究の全体像や哲学を話してもらうことで「専門分野での研究到達目標はこんなもんですよ」ということをアマチュアの研究者につかんでもらう。第 2 に、学問的議論をじっくりやる。そして第 3 に、全体像を話すことで発表者本人にもなにがしかのものを得てもらう。この主旨のもと、3 代目世話人の浦野栄一郎さん、4 代目世話人の高木昌興さんの尽力で、今までに永田尚志さん(第 1 回)、日野輝明さん(第 2 回)、綿貫豊さん(第 3 回)、小藤弘美さん(第 4 回)、Navjot Sodhi さん(第 5 回)、堀田昌伸さん(第 6 回)、早矢仕有子さん(第 7 回)、村上正志さん(第 8 回)、西海功さん(第 9 回)、白木彩子さん(第 10 回)、濱尾章二さん(第 11 回)、天野達也さん(第 12 回)、関伸一さん(第 13 回)、相馬雅代さん(第 14 回)、富田直樹さん(第 15 回)、風間健太郎さん(第 16 回)に発表していただいた。

世話人が変わったからといって基本的な主旨は変えない。初代世話人の山岸さんは、「私自身がアマチュア時代に最も困った点は、その分野での自分の研究の当面の到達目標をどのレベルにおいたらよいか、大学の外にいると知りにくいことであった」と趣旨説明の中で述べている。研究をはじめたばかりの方、研究を志している方、どうぞ気楽に参加して下さい。世話人としては、なぜ、そのテーマを選択したのか(研究のきっかけ)、着眼点、研究の進め方、悩んだ点などの全体像を話してもらい、データの処理方法等は二次的なものと考えています。

### 話題提供者紹介

堀江明香さん（大阪市立大学理学研究科・特任講師）

今回、話題を提供していただく方は、堀江明香（さやか）さんです。堀江さんは、平成 24 年に大阪市立大学でダイトウメジロにおける対捕食者行動の可塑性と学習の効果の研究で学位を取得しました。堀江さんは昨年、学位を取得したばかりですが、その内容は Ibis や日本鳥学会の和文誌に掲載されています。

今回は、メジロを材料に、博士論文のテーマである対捕食者戦略についてやさしく話してもらいます。